

小沼先生へ

先生が告訴されたと聴いて呆れています。これは明らかに政治的な圧力でしよう。法の平等、法の遵守から言えば小沼先生の告発分のごが名誉毀損に当たるでしょうか。田淵常務の言動、行為は明らかに大学法人の役員としての権限、範疇を逸脱していますし、公私混同と思われるビジネス的な事例は幾つもあります。また先生の告発文の中には明らかに犯罪と思われる行為も含まれておりますし、誰かの勇氣ある告発は是非とも必要なことでした。私は先生を存じ上げておりませんが、OBである湯元氏が孤軍奮闘されている姿を見て、内容、状況から見て正義は湯元氏にあり、という立場から参戦した訳ではありますが、我々は不正を公にする、是非を世間に問うという事しか出来ません。実際の被害者、迷惑者は関係者でありますから、関係者からの告発は絶対条件であります。

今回の告訴を法的に当局もよく受けられたと不思議で仕方ありませんが、恐らく法的に受けたというよりは、仲違いの解決になる糸口はないものか、本当の争いの根はなんなのかを調査するという意味か、無理やり上からの政治的圧力ではないでしょうか。やはり現在体制側において金庫を握っているうちは強いですし、その恩恵を受けている政治家、或いはそれに類する者達は動かざるを得ないでしょうからね。しかし実際に担当になった現場の当局の人達はどちらに正義があるの

か、何故、先生が告発する気になったのか平等に調べれば分る筈です。

もう一つ、考えられる事は田淵常務が常々「小沼を告訴する」と周
囲に言ってる手前、無理やりでも告訴しなければ格好つかなくなった
か、告訴して先生が一度でも取調べを受ければ、「警察の調べを受け
た」とさも犯罪者のような印象を与えられると同時に、先生に同調し
ようとしている人達に対しての牽制の意味もあるのではないでしょう
か。今までの田淵に対する言動から評価すれば、本来、告訴するなら
先生よりも湯元氏のほうが百倍も告訴の対称な筈です。にも拘らず先
生を告訴した、ということは湯元氏が確信的立場で戦っているのに比
べて、先生が元教授であり、前科前歴のない善人であり、調べに弱い
のではないか、という田淵側の読みだからでしょう。こういう作為的
な告訴はすぐにボロが出る筈です。

私は寧ろ、今度の田淵の告訴は墓穴を掘る行為につながると思いま
す。何故なら、捜査権を持っている公権力を学内に入れたくないと思っ
ていた一番の当事者は田淵自身に他ならないからです。田淵の不正を
追及する側にとっては今回の告訴は千載一遇のチャンスです。是非、
当局に真実を語れば、必ず政治的な判断とは別に法の遵守に則って、
公平な立場から動こうとする刑事も出て来る筈です。当局者も組織と
はいえ人の集まり、全て右へ倣へとは限らないのです。是非田淵の圧
力に負けないで最後まで不正追求をお願いします。